

京都駅ビル開業15周年記念
山陰デスティネーションキャンペーン記念
「足立美術館 横山大観展」

1. 今回の趣旨

今回の「足立美術館 横山大観展」は、山陰両県と地元の観光事業者、JR グループ旅客 6 社が共同で実施する大規模観光誘客キャンペーンである「山陰デスティネーションキャンペーン」(H24.10~12)に合わせた山陰地方の魅力を京阪神地区にお伝えするイベントとして、また、今年の9月に開業15周年を迎える京都駅ビルの記念イベントとして、島根県安来市にあります全国的に著名な「足立美術館」の「横山大観」作品を美術館「えき」KYOTOにて展示いたします。

2. 足立美術館とは

足立美術館は、1970年に地元出身の実業家・足立全康氏によって島根県安来市に創設されました。5万坪の広大な日本庭園と横山大観をはじめとする近・現代日本画コレクションで有名な美術館です。2010年10月には、現代日本画を展示する新館をオープン。所蔵品は約1,500点におよび、特に約120点を超える横山大観の作品は質・量ともに日本一を誇っています。

3. 横山大観(1868~1958)とは

1868年、現在の茨城県水戸に生まれた大観は、1889年に東京美術学校第一期生として入学。岡倉天心の薫陶を受け、天心らとともに1898年の日本美術院の創立に参加。新しい日本画の創造に邁進します。水墨画や濃彩画に異彩を放ち、明治・大正・昭和にわたって近代日本画壇の礎をつくりあげました。

4. 出展作品

本展では、初期の「無我」(1897年)から、大観芸術の集大成として知られる海・山十題のうち「海潮四題・秋」「霊峰四趣・夏」(ともに1940年)、そして最晩年の「山川悠遠」(1957年)に至るまで、各時代の名作41点を展示します。



無我(1897年)



海潮四題・秋(1940年)



霊峰四趣・夏(1940年)



蓬莱山(1948年)